



SIP ワークショップ 2019

世界を先導し、日本再生の鍵を握るSIP第2期プログラム

2019年10月24日(木) イイノホール Room A



国家レジリエンス (防災・減災)の強化

テーマ: 防災先進技術を自治体に ~国と自治体の有機的な繋がり~

14:30-14:35

(開場 14:00)

内閣府開会の挨拶

14:35-14:45

SIP「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」の取組
堀プログラムディレクター

14:45-15:00

各パネリストの発表

15:00-15:45

ディスカッション

15:45-16:00

会場・及び中継先からの質疑応答
YouTube中継、Sli.doによるQ&A



SIP プログラムディレクター

堀 宗朗

国立研究開発法人 海洋研究開発機構
付加価値情報創生部門 部門長

【パネルディスカッション】パネリスト

中川 勝広

国立研究開発法人
情報通信研究機構
電磁波研究所リモートセンシング研究室
室長

岩崎 晃

東京大学大学院 工学系研究科
航空宇宙工学専攻
教授

近藤 祐史

日本赤十字社医療センター
国内医療救護部/救命救急センター
医師

澁谷 博昭

福岡県朝倉郡東峰村
村長

元村 有希子

毎日新聞論説委員

防災先進技術を自治体に ～国と自治体の有機的な繋がり～

自治体が求める防災技術とは何か、これからの防災に必要とされるものは何か、来場者の皆様からのご意見も伺いながら、研究開発者・自治体代表者・医療関係者・ジャーナリストが災害大国・日本にとって欠くことのできない課題、防災先進技術について共に考えます。

パネルディスカッション メンバー紹介

コーディネーター

堀 宗朗

国立研究開発法人
海洋研究開発機構
付加価値情報創生部門
部門長

SIP 第2期 国家レジリエンス
(防災・減災)の強化
プログラムディレクター



パネリスト

中川 勝広

国立研究開発法人
情報通信研究機構
電磁波研究所リモート
センシング研究室 室長

1998年郵政省通信総合研究所(現NICT)
入所。マイクロ波リモートセンシングの研究
に従事。博士(工学)。



パネリスト

岩崎 晃

東京大学大学院工学系研究科
航空宇宙工学専攻 教授

1987年通商産業省工業技術院電子技術総合研究所入所。2008年4月から現職。地球観測衛星の処理ソフトウェア、および衛星センサのハードウェアの研究に従事。



パネリスト

近藤 祐史

日本赤十字社医療センター
国内医療救護部/救命救急センター
医師

日本赤十字社災害医療コーディネーターとして、平成30年西日本豪雨、北海道胆振東部地震等災害現場に派遣されている。医師、医学博士、DMAT隊員。



パネリスト

澁谷 博昭

福岡県朝倉郡東峰村
村長

(独法)水資源機構入局、建築士として公園の建築設計業務に従事後、故郷東峰村の村おこし貢献を決意、平成25年10月より現職。



パネリスト

元村 有希子

毎日新聞論説委員

1989年、毎日新聞入社。科学環境部デスク、同部長などを経て19年6月から論説委員。テレビ出演、講演など多数。富山大学客員教授。



SIP パネル展 同時開催

SIP 第2期 12 課題の成果をパネル展示

会場 イノホール

- 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結
- 東京メトロ 丸の内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

お問い合わせ先 SIPワークショップ 2019 事務局

TEL:03(6903)6450

MAIL:info-sip@cerespo.co.jp

主催

